

# 雛のつるし飾りまつり

## 雛の館展示会場

■開催期間／平成三十年 一月二十日～三月三十一日  
 ■開館時間／午前九時～午後五時(四時三十分受付終了)  
 ※文化公園雛の館は、月十七日・三月十日の土日のみ午後六時開館(五時三十分受付終了)

## メイン会場

### 「文化公園雛の館」

雛のつるし飾りまつりメイン会場として様々なつるし飾りの展示や日本三大つるし飾りの酒田の傘福や柳川のさげもんも展示されます。  
 入館料300円・大型バス可

### 雛の館「むかい庵」

入館料300円・大型バス可

## 協賛会場

●収穫体験農園ふたつぼり 入館料無料・大型バス不可  
 ●なぶらとと 入館料100円・大型バス不可

## 雛祭り

■日時／平成三十年 三月三日(雨天中止)

文化公園雛の館前の芝生広場において、午前と午後それぞれ先着200名様に、お菓子とお抹茶を振舞い、また、初節句を迎えるお子様を募り、お子様の幸福と健康を祈願します。

## 雛まつり「女性のためのゴルフ大会」

■日時／平成三十年 三月四日

●場所／稲取ゴルフクラブ ●大会参加資格／女性に限らせていただきます(男性の同伴プレー可)  
 ●お申し込み・お問い合わせは  
 稲取ゴルフクラブ 0557(95)2311

## 雛のつるし飾りと港町稲取温泉の 魅力めぐり(スタンプリラリー)

■期間／平成三十年 一月二十日～三月三十一日

### 「スタンプリラリー」概要

伊豆稲取駅の駅前観光案内所や旅館でスタンプリラリー用紙を購入(一部100円)していただき、①つるし飾り展示会場、②神社仏閣、③～⑤商店・飲食店、の5つのスタンプを集め、必要事項を記入し、応募券回収所に投函します。後日、抽選で宿泊券や地場産品など、総額60万円の豪華賞品が当たります。  
 ●お申し込み・お問い合わせは  
 稲取温泉観光協会 0557(95)1157

### 文化公園イルミネーション

公園内にLEDライトで装飾された稲取のナイトスポットです。(点灯・日没後21時30分)

■期間／平成三十年 一月二十日～三月三十一日

### ガイドが語るつるし飾りと夜の開館

つるし飾り発祥の地の歴史やつるし飾りに込められた願いを、夜に文化公園「雛の館」を特別開館しガイドが案内します。

■日時／平成三十年 二月二十一日～二十四日・二十八日  
 三月一日・二日(開館:20時～21時30分 ※予定)

### 湯めぐり雛めぐりバス

午前中は東伊豆町の各温泉場から稲取に向かう送迎を行い、午後は稲取内の見どころ4か所を循環する周遊バスです。

■期間／平成三十年 二月十日～三月十日の間の土日・祝日

### 雛のつるし飾り無料休憩所

稲取いきいきセンターにて金目鯛の味噌汁サービス(限定数がふるまわれお菓子などのお土産を販売。)

■期間／平成三十年 二月十七日・十八日・二十四日・二十五日  
 三月三日・四日・十日・十一日(時間10時～15時 ※予定)

## つるし飾りの歴史

## つるし端午の福まつり

日時／平成三十年 四月七日～六月三十日

五月晴れの空に悠々と泳ぐ鯉のぼりのように健やかにのびのびと育てほしいと願いを込めたつるし飾りで端午の節句の男の子をお祝いする、ここ稲取温泉に伝わる新しい形のつるし飾りを展示しています。

●場所／文化公園雛の館 入館料300円



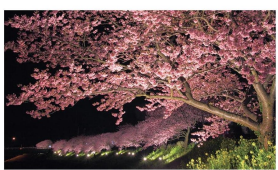
※各イベントは天候や諸事情により変更・中止となる可能性があります。



## 伊豆稲取温泉近隣の花暦



爪木崎水仙まつり  
 [期間：12月20日～2月10日]



みなみの桜と菜の花まつり  
 [期間：2月10日～3月10日]



第6回伊東MAGARI雛  
 [期間：2月下旬～3月上旬]



伊豆高原桜まつり  
 [期間：3月中旬～4月上旬]

## 高速ジェット船で伊豆大島へ

### 伊豆大島 椿まつり

平成30年 1月28日(日)～3月25日(日)

満開の椿を眺めながら、期間中島内各所で  
行われる様々なイベントをお楽しみください。

高速ジェット船 稲取航路 (許可申請中)

- 運行期間 平成30年1/28(日)～4/8(日)
- 所要時間 高速ジェット船にて約35分
- ダイヤ 午前・午後各一便

※時期によって多少の前後あり  
 詳細は東海汽船HPにてご確認ください。  
<http://www.tokaikisen.co.jp/>  
 ☎03-5472-9999 東海汽船お客様センター

稲取⇄大島 約35分

雛のつるし飾りの風習は、江戸時代後期の頃を発端とする「稲取独自の伝統の飾りもの」で、その起源は定かではありませんが明治生まれのおばあさんがこどもの頃からつるし飾りがあったと言います。その歴史は100年以上を超えるものと思われ、子や孫の成長を願うやさしい暖かい心を込めた稲取独自の風習で、女の子のすこやかな成長を願って手作りされ、意味や決まりごとを守りながらこの町独自の和細工として現在まで受け継がれてきました。